

発行/広島県印刷工業組合

発行人/中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : h.inkumi@estate.ocn.ne.jp



令和6年能登半島地震に対する義援金報告

令和5年度下期中国地区印刷協議会開催

中国地区協議会 中本俊之会長挨拶

全印工連 瀬田章弘副会長挨拶

長島事務局長事業概要説明

令和6年度事業テーマ、組織・委員会機構について

瀬田章弘副会長

各委員会報告

官公需対策協議会報告

渡部康行島根県工組副理事長

福山支部だより

事務局だより

国内初のまちなかスタジアム

「エディオンピースウイング広島」 広島市中央公園

広島市は2000年代前半から中心部におけるサッカースタジアム建設構想を持ち上げていたが、この2月に完成オープンした。

名称は名前にある通り、家電量販店のエディオンが取得している。敷地面積は約49,900㎡、建築面積は約26,700㎡で、スタジアムの建物は高さ約42メートルの地上7階、南東側と南西側に大きく開口しているのがデザイン上の特徴となっている。この開口部は内部の賑わいを伝え、ピッチの天然芝育成にも寄与する。スタンドを覆う大屋根は国際平和都市広島を象徴する「希望の翼」をイメージしたもの。東西方向から見た屋根のラインが航空機や鳥の、前縁(リーディングエッジ)から後縁(トレーリングエッジ)に至る翼形の断面のように見える。

プロ野球も始まったが、今年のサッカーは見逃せない。

どちらも応援しよう。忙しくなるぞ!

皆さまからの温かい義援金 117万5千円 全印工連全体の総額 2,200万円

「令和6年能登半島地震に関する災害義援金」へのご協力のお礼

広島県印刷工業組合では、全印工連が立ち上げておられる「令和6年能登半島地震に関する義援金」に協力し、仲間である組合員の皆さまに少しでもお役に立ちたいという気持ちを込めて募りました。

組合員は仲間です。これからの復旧の道のは険しいと思われませんが、組合員みんなが支援しています。また、日本の全国民、いえ全世界の人々が見守り応援しています。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。

“がんばれ！ 日本”

広島県印刷工業組合の組合員の皆さまには、いろいろ数多くの支援団体等がある中で、「全印工連」の支援に多額の義援金をいただきましてありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

お陰さまで、皆さまよりお預かりいたしました義援金は組合員59社と2名で上記の金額になりました。

この義援金は、先日、全印工連の方に送付させていただきましたのでご報告申し上げます。

広島県印刷工業組合 理事長 中本 俊之

令和5年度 下期中国地区印刷協議会開催

令和5年度下期中国地区印刷協議会が、2月16日（金）午後1時30分より広島ガーデンパレスにおいて、全印工連から、瀬田章弘副会長、長島文雄事務局長、中国五県の各工組から理事長、及び役員等33名出席し開催された。

まず、本会議前12時00分より理事長会議を行い、本会議では各理事長等は個々の委員会へ出席した。

本会議では、始めに1月1日に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々に心より哀悼の意を捧げ黙とうを行った。

【会議次第】

- ・ 理事長会議（本会議前に開催）
- ・ 中国地区協議会 中本俊之会長挨拶
- ・ 全印工連 瀬田章弘副会長挨拶
- ・ 長島文雄事務局長から全印工連の事業概要説明
- ・ 瀬田副会長から「令和6年度事業テーマ、組織・委員会機構について」説明



- ・ 次回開催場所等について
- ・ 令和6年度上期中国地区印刷協議会開催の件
6月28日（金）周南市で開催決定
- ・ 各分科会討議
- ・ 各委員会報告（中国地区の各委員長より）
- ・ 渡部康行島根県工組副理事長より官公需対策協議会の概要、取組み及び島根県での事例について
- ・ 意見、質疑応答
- ・ 閉会
以上を午後5時過ぎに終了した。
その後、6時より懇親会が開催された。

【中本俊之中地協会長挨拶要旨】

1月1日に発生した令和6年能登半島地震から1ヶ月半が経ちました。地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

全印工連では先月から義援金の募集をしております。まもなく締め切りとなりますが、まだ応募されていない皆さまにおかれましては、ご協力いただける範囲内で結構ですので、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。なお、義援金は今後に判明する被災状況に応じ、該当の工業組合に渡す予定です。

さて、昨年10月は「2023全日本印刷文化典広島大会」という一大イベントを無事に開催することができました。

全印工連の役員をはじめ、ここにおられます中地協の皆さまのご協力のおかげと、深く感謝申し上げます。広島大会の開催は、2018年の高知大会以来5年ぶり、広島での開催は50年ぶりでした。開催に至るまでには紆余曲折がありました。高知大会が終わった次の年2019年12月に広島大会実行委員会を立ち上げましたが、2020年長野大会が延期、2021年に中止となり、4年間の準備期間を経てようやく開催することができました。

10月13日と14日の2日間にわたり、印刷組合の仲間ならびに印刷関連業界の皆さまなど、全国各地か



ら580名にご参加いただきました。

広島大会前日の10月12日は印刷産業夢メッセと記念ゴルフ大会が開催されました。夢メッセはのべ870名、ゴルフ大会は9組36名の方々に参加していただきました。

また、広島大会終了後のエクスカージョンは宮島観光コースが17名、3社工場見学コースは36名の皆さんにご参加いただきました。

このようにたくさんの皆さまと親交を深め、有意義で心温まる時間を過ごすことができたことに、重ねて御礼申し上げます。

広島大会では「真っ赤に燃やせ！印刷魂」をテーマにかかげましたが、このテーマに込めた想い「厳しい状況下でも下を向かず、強い気持ちで未来を切り開こう」というメッセージを受け取っていただけたのであれば幸いです。

次回の全日本印刷文化典は2年後の2026年に沖縄で開催されます。首里城復元に合わせて開催する予定だそうです。また多くの出会いとご縁の場があるかと思えます。

最後になりましたが、今年は暖冬で個人消費が弱含みですし人手不足、人材確保の問題や人件費の上昇で収益力の足かせになっています。引き続き厳しい環境が続きますが、こういった環境であるからこそ組合事業に積極的に参加して仲間をつくり、そして今日の会議が有意義な時間となりますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

【瀬田章弘副会長挨拶要旨】

最近、コロナが明け、いろんなことが変わってきたのかなと思います。東京の方は、いま印刷のマーケットは割と活況を呈しており、なかなか去年より良い、コロナ前より良いという会社がだんだん増えてきています。

これはなぜか、かなりの会社がコロナ禍の中で生産設備を縮小している、「出すところが無い」と。特に、大手のT社は、いま枚葉印刷機を7台しかもう持っていない。D社も、同じくそれに近い数字になってきているということで、どんどん縮小してきている。そういうことで、我々中小印刷会社のほうに、「じゃあ、物を作ってよ」ということではありますが、全体としては、やはり印刷需要というのは厳しいのかなというのがあります。

話は変わりますが、私は今週の頭までスペインに行っていました。次女がスペインに留学してしまっていて、普段家庭を犠牲している男なので、最後ぐらい心からの



お詫びでちょっと顔を出して、勉強の成果を見させてもらおうかなということで行きましたが、非常にびっくりしたのが、コロナの前に一度行ったことはありましたが、コロナが終わったスペインはだいぶ変わってしまっていて、何が変わったのかというと、ほとんど紙がないのですね。

まずは移動するのに、こっちでいうJRみたいなものがありますが、JRは当然Suicaとかで入れますけど、ネットで予約してQRコードがスマートフォンのほうにダウンロードされて、入口でそれをピッとやってみな入っていく。世界中から人が来ていますが、全員それです。それで移動しまして、今度は時間があるので、美術館とか教会とか王宮も、王様のいる場所を予約するのも全部スマートフォンからでして、QRコードを提示して、それをピッと見せて入っていく。パンフレットも全くなくて、「アプリをダウンロードしてください」と書いてあるのですね。ダウンロードして、自分のスマートフォンに落として見て、人によっては音声ガイドをつけながら聞くというそんな状態です。

現金を全く使いません。カード決済でタッチ式をみんな持っていて、市場で魚屋さんとか肉屋さんも全部タッチ式のカードで、ほとんど現金は使わないという状態でした。

あと、食事をしようかという時に、次女はZ世代なので、「なんかこの辺でうまいとどこかあるの」なんて話をしていると「わかった、探すわ」と言ってGoogleマップで探して、点数をバババババっと、コメントを見て「あそこがうまそうだな。あそこに行きましょう」って。Z世代の人は店の…。まあ僕なんかだと、見ながら「ここはちょっとお客さんが多いからやめておこうかな」「いい匂いがするなあ」とか言って入っていきますけど、全くそんなことを彼女たちは考えないで、口コミを見て選んでくれた。

私は東京で、10日間ぐらい、アパートメント、コンドミニアムを予約しましたが、これも全部スマートフォンからできて、国内線のエアーの予約も全部スマホでできたので、何がお話したいのかということ、全部の生活が、タッチポイントが、全部スマートフォンからになっているということなのですね。もうガイドブックとか紙とかではなくて、町中も世界中の人が来ていますけど、全部スマートフォンで動いているという時代になってきて、そう考えると日本はちょっと遅れているなという感じがありますけど、間違いなくそういう方向に日本も行くのだろうなあと感じました。

そういう激動の中で、そうは言ってもお客様の課題がたくさんありますし、我々にできることってまだまだあると思います。全印工連としましても、中小印刷業がどんなことができるのか、どんな可能性があるの

か、どういうことを取り組むべきなのかという、豊富なメニューをたくさんご用意しています。ですので、ぜひ、これを、まず、しっかりつかんでいただいて、全部が皆さんの会社にぴったりフィットするとは限らないですけど、「あっ、これはいいな」「まあ、これはやめとこうかな」と、選択していただいて、知って使わないのはいいと思いますが、知らないでいるというのは、これは非常に損ですし、ぜひ周りの方にも伝えていただきたいと思いますので、今日の分科会、全体を通しましても、ぜひ情報をしっかりつかんでいただいて、自社のために、また周りの方々のために有効に使っていただきたいなと思っています。

厳しいと東京も同じですけど、だんだん出にくくなってきます。お金もかかるし時間もない。ただ、厳しい時に情報をつかみに行かなかったり、人と触れ合わないと、余計縮小してしまいますので、ぜひこういう地区協議会を活かしていただいて、ネットワークを作ってください、情報もつかんでいただいて、どんどん自社のために、有益な時間を過ごしていただきたいなと思います。

今日は長丁場になりますけど、最後までよろしくお願いします。ありがとうございました。



【長島事務局長の事業概要説明要旨】

まず、グリーン購入法における特定調達品目の見直しは、全印工連では平成30年の暮れから、再生紙が入手できないといった全国各地の組合員の声を受けて、官公需の取引に再生紙を入手できる企業が実質的に有利となるのだといった実態を把握し、このままでは公正・公平な競争ができないという、大きな問題であることを認識しました。このことから平成31年2月に開催された、印刷議連、印刷産業振興議員連盟の会合で、再生紙の供給不足について問題を提起し、翌3月には、環境省から入手できない場合は代替品を認める旨の文書が、国及び地方自治体に対して発出されました。これは以前に、地区協でご報告済みです。

この環境省発出の文書により、現場の混乱はある程度解消されたと思いますが、今後の再生紙の増産など抜本的な解決にはつながらないことから、印刷議連と連携して印刷議連の会合を何とか開いていただき、環



境省に対して古紙パルプの配合率に関わらない、新しい抜本的な判断基準の見直しの要望を続けてまいりました。この強い要望を受けて環境省では、昨年の6月に環境省の特定調達品目検討会のもとに、印刷用紙専門委員会を立ち上げ、判断基準の見直しを行うことになりました。もちろんこの委員会には、滝澤会長は委員として、池尻専務はオブザーバーとして出席をさせていただいております。昨年の6月から10月までに計4回開催されました。その結果として、ご案内のとおりグリーン購入法の新しい印刷用紙に係る判断基準が、昨年の12月22日に閣議決定されまして、これまでの基準が改定されることになりました。

その内容の概略ですが、従来の印刷用紙の判断基準では、古紙パルプ配合率を40%以上とする、必ず古紙を配合するといった絶対条件がありましたが、それが撤廃されたことです。その上で、これまでの森林認証材パルプ、間伐材パルプに加えて、新たに第三者認証機関により、検証された木材を原料としている管理木材パルプが評価されることになりました。環境省並びに経済産業省からは、この新しい基準によって、こ

れまで適合品が6万トンであったものが、これからは140万トン以上の流通量になること。製品数も17種類から112種類へ拡大すること。製紙メーカーも、これまでの2社のみの供給体制から、7社からの供給が可能で見通しとなり、したがって、効果が非常に大きいものと考えている、という回答をいただいています。また、欠品の際には、経済産業省の素材産業課とコンテンツ課で情報共有し、即座に対応したいとの説明が両省からありました。

これに基づきまして、これを後押しするための新たな対策が、環境省から国と地方公共団体等の調達担当者宛に、12月22日付で閣議決定された日付で文書が発出されています。その中では、今回の改定の周知に加え、適合品一覧リストの公開、さらには令和4年12月14日付の別紙も添えられて、改めて引き続きの代替品の使用を認めることも記載されています。

また、この文書の中では、日印産連及び全印工連のウェブサイトで、当該製品の一覧表を公開する旨が述べられていますが、その今回の見直しによる適合品一覧リストが、以前は17種類だけでしたが、今回この基準改定によりまして、112種類まで増えることになりました。

なお、この適合品リストをご覧いただけると分かると思うのですが、A2用紙についての必要十分な供給に関して未だに若干の不安が残ることから、万が一、印刷用紙の調達に支障が生じた場合の対策として、経済産業省及び日印産連、全印工連のそれぞれに相談窓口を設け、情報の共有と問題解決を図る体制が整えられました。その申込書は、日印産連、全印工連のホームページからウェブ上で記入になっておりますので、よろしく願いいたします。

したがいまして、現在日印産連と全印工連のホームページにおきましては、環境省発出の各省庁宛の文書、それから都道府県宛の文書と新基準適合品の一覧表、そして何か問題が生じた際、相談窓口の運用を始めましたので、今後の各地区、各工組単位での引き続きの周知PRをよろしく願い申し上げます。資料は全て全印工連のホームページにアップされておりますので、周知PRの際に、ご活用いただきたいと思っております。

2つ目は、令和6年能登半島地震義援金についてです。今回の能登半島地震におきまして、被災された石川県、富山県、新潟県の組合員並びに関係者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。今回の被災状況はまだ途中段階で、金沢、小松市といった加賀地方を含めて、富山県、新潟県にまで被害が広がっています。特に石川県の七尾市内にある組合員企業に深刻な被災がありました。今現在、石川工組では20社、富山工組では7社、新潟工組では1社の、合計で28社の被災が報告されています。特に石川工組につきましては被害が一番大きく、能登、小松の地域をはじめ、金沢市内でも被災が報告されています。石川工組の64社のうち、社屋、設備の一部損傷は18社、大禍が2社。生産体制から見ると、一部不可が3社、全く不能は4社というような報告をいただいております。この報告を受けて、全印工連では復興金的な意味合いを含めまして、義援金の募集を行うこととさせていただきます。募集期間は昨日まででしたが、現時点で27工組から約1,200万円のご支援をいただいているところです。

次は、各委員会事業の依頼報告事項ですが、まず1つ目が、印刷業経営動向実態調査の骨子について、現時点におきまして、回答数が少ないことから、調査の信用性を少しでも上げるために、締め切りを今月末まで延長して実施しますので、ぜひご協力をお願いします。

2つ目は、官公需対策協議会、全国協議会の開催は、14日の水曜日に「page 2024」の開催に合わせて池袋のサンシャインシティで開催し、全国から30名の参加、今回のテーマの知的財産権と最低制限価格制度の2つについて、有意義な意見、情報交換を行うことができました。

3つ目は、令和6年度の全印工連フォーラムの開催です。昨年は地域印刷文化典として、ここ広島で印刷文化典を開催、今年は9月27日に大阪のスィスホテル南海大阪で開催を予定しています。昨年の広島大会と同じように、ぜひご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆さまに、全日本印刷産業政治連盟の会員数の増強についてよろしくお願いしたいと思います。

以上で、全印工連の概況説明とさせていただきます。

It's a Beautiful Message

ART

<https://www.art-g.co.jp/>

アート印刷株式会社 〒720-0077 広島県福山市南本庄一丁目10番38号
TEL.084-924-5588 FAX.084-931-9360

多くの人に伝わる
わかりやすいデザインを—。

MUDの普及に取り組んでいます。

株式会社 ユニックス UniX

■呉本社 〒737-0143 呉市広白石1丁目2-34 TEL (0823) 72-8000
■広島本社 〒733-0034 広島市西区南観音町20-38 TEL (082) 231-2131

【中国地区印刷協議会より】

《理事長会》

中本俊之会長（広島）から、①各地区協議会の次期役員候補の選任と、地区委員会等について、②各県工組における活動状況、情報報告、③各工組の次年度の予定について意見交換内容を報告。

《経営マーケティング委員会》

細川俊介委員長（広島）から、①経営革新支援事業。MIS 導入活性化、活用活性化に向けた啓発、そして「新・勝ち残り合宿ゼミ」の開催、②事業承継・事業継続支援事業。「事業承継支援センター」の活用の推進と啓発。また、印刷業界のための事業承継・M&A セミナーの開催。「事業承継ガイドブック」の周知、サステナブルな事業経営の推進、印刷業経営動向実態調査の実施推進、CSR 認定事業の普及と啓発などの報告、最後にフリートークで「要は、お客さんが欲しいと思っている物を売っていくのが商売の基本」で時代の潮流に乗っかるキーワードが、DXとSDGsとGXと地域創生、そして、2024年問題の、配送の人手不足などについてお話をを行った。

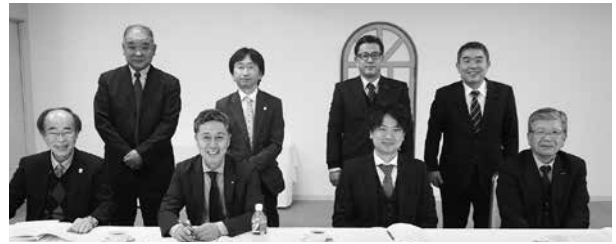


《環境労務委員会》

中川隆委員長（広島）から、①デザイン経営の事例研究・セミナーの開催・情報発信、②「共創ネットワーク通信」のサイトリニューアルの周知・活用、③2期4年（令和2～5年度）活動の資料、④職場のハラスメント・カスタマーハラスメント対策、⑤2024年4月からの労働条件明示のルール変更、⑥ご存知ですか？トラックドライバーの労働時間のルールを、⑦労働安全衛生法等に関係した、事業場内における管理者・主任者等の選任について、⑧「知らなかったでは済まされない 労働法と労働基準法改正セミナー」の開催、⑨G P（グリーンプリンティング）認定制度、⑩環境推

印刷の新たな未来を、ともに切り拓く。
合同印刷機材株式会社
〒713-0811 広島県広島市西区西工センター4丁目13-1
TEL 082-277-8822 FAX 082-277-8828

進工場登録制度、⑪ISO 14001 取得支援事業（NetEMS）などの意見交換内容を報告。



《組織共済委員会》

竹田圭佐委員長（山口）から、①クラウドバックアップサービスの普及・加入促進、②BCP（事業継続計画）対策の推進、③生命共済PR 動画の活用について、④介護保険料の値上げについて、⑤令和6年度共済加入促進キャンペーンの推進、⑥生命共済制度の更新処理、⑦組合員加入の促進についてなどについて意見交換内容を報告。



《教育研修委員会》

廣野景治委員長（岡山）から、①技能検定プリプレス（DTP作業）受験者数、②教育動画サイト「印カレラーニング」契約状況、③全印工連特別ライセンスプログラム各工組目標本数の結果及び周知・普及、④印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験の開催などの意見交換内容を報告。



SAKATA INX...
広がっています、ボタニカルインキ
BOTANICAL INK
CO2排出量削減に貢献!
環境に配慮したパッケージとしてアピール!
既に多くの包装に採用されています!
サカタインクス株式会社 中四国支社
〒700-0962 岡山市北区北長瀬表町 3-17-27 TEL 086-241-8551

《官公需対策協議会》

官公需対策協議会の概要、
取り組み及び島根県での事例について

渡部康行 島根県工組副理事長



官公需対策協議会とは、全印工連に設置されている委員会です。20年前に発足した組織です。実際、価格破壊の防止に関しては、これは最低制限価格についてです。多分権利問題というのが、要は、デザイン権をどっちに、印刷会社なのか発注者なのかみたいな問題で、結構昔から議論しましたが今も議論されていることが分かりました。

活動の内容としましては、中国地区は島根県が担当で、私の前の担当が今の渡邊理事長で、その前が谷口前理事長です。中地協では、当然人数が少ないので、委員会が構成されておられません。知財権のパフレットは、多分皆さんご存じだと思います。これを、今年度リニューアルをしまして、「印刷と基礎発注と知的財産権」というものが、組合員に加えて、全国の47都道府県プラス市区町村全部に配布をされておりますので、もしかすると問い合わせがあった方もいらっしゃるかもしれません。

知財権だとか、ダンピング防止の最低制限価格について議論をしていますが、なかなか成果が挙げられていないのが現状です。ただ、コンテンツ版バイ・ドール契約というのは、総務省がやった調査によると3都道府県は採用されているようです。

あと、実際には政治連盟の成果だと思いますが、先ほど来お話が出ているグリーン購入法の印刷用紙に関係することに関しても、多少は官公需対策協議会も寄与したのかなと思っております。

一昨日、第7回官公需対策全国協議会というのが、pageに合わせて池袋のサンシャインで開催されました。全国から30名の参加がありまして、2部構成で、1部が、知的財産権のセミナーで、第2部が最低制限価格をテーマにしたテーブルディスカッションということで、実際こんな感じでお話をしていきました。

全印工連の滝澤会長、瀬田副会長、江森さんとか、結構偉い方が多くおられて、先ほどもご説明があったように、協議会から委員会に格上げをして、特にSR



調達について議論を対面しようという話になっております。

最後に、島根県の実例をご紹介します。過去、もう20回はやっていると思うけど、年に1回、県の商工労働部中小企業課と、懇親会が今年度で13回目になります。元々は中央会が主導でしたが、今は印刷組合が主導で、県とアポイントメントを取って進めています。今年度は再生紙だとか知財、それから原材料の高騰、SR調達について議論をしました。島根県も、県議会議員がお年寄りの方が多いですけど、もう議会がペーパーレスへというようなことが決まっています、その話も伺ったところであります。

県の広報誌『フォトしまね』は年に4回発行されて、1回25万部で、多分1回分1,000万円ぐらいの売り上げが、地元新聞社から印刷会社に発注でしたが、これが元々は大手印刷会社TOPPANに発注が出ていたのが、我々が「地元優先発注をお願いします」と言って、地元が発注され、非常に成果を上げた一例だと思います。

地元優先発注を求めている、今95%の金額ベースで地元が発注をされています。県の、いわゆる印刷というカテゴリーでいくと、3.7億円が県で発注ということでした。

最後に、私もなるべく情報があればこの場で皆さんに共有をさせていただきたいということがあるのと、「例えばこんな事例があるよ」というようなことがあれば、ぜひ私にご連絡をいただいて、それを中央のほうで共有をしていきたいなと思っております。その他、理事長会でお話が出たのが、岡山県さんが、多分自民党の議連ですかね、陳情されたという事例があって、今日はお話を最初いただくかなと思ったのですが、時間が無いということがありましたので、ぜひ次回、理事会辺りにその話もやっていただければなと思っております。

私からは以上です。

世界に広がる **kinyo** のネットワーク

◯ 営業拠点
■ 製造拠点
▲ 研究所

ゴムロール・ゴムブランケット
ゴムのことならおまかせ下さい!

株式会社 **金陽社** 広島営業所
☎725-0002 広島県竹原市西野町1561-1
☎0846-29-1011 FAX0846-29-1229

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか

ホリゾン・ジャパン株式会社
www.horizon.co.jp

《福山支部だより》

福山支部 2月例会

2024年2月21日(水)、福山支部価値組委員会の2月(第239回)例会を開催しました。今回は久々の移動例会。昨年末に新台印刷機を導入された三和綜合印刷(株)さんへお披露目も兼ねてましたが、日頃のお仕事の取り組み方などを見学させていただきました。三和綜合印刷さんはPPシートへの印刷を主体とされており、紙への印刷とはまた違う視点やアプローチを持たれていたこと。そして、PPシートは紙とは単価の「桁」が違うので見当合わせや予備紙の管理にシビアになると言われてたことや、社員さんが最終の検品をすごくシビアに、しかも丁寧にされていたのを拝見して思わず背筋が伸びたのがとても印象に残っています。

会社や仕事内容が違っても、同じ印刷業でもアプローチの仕方がこんなに違うのかと、それを垣間見れてとても勉強になりました。これからもこういう機会を作って皆さんで磨きあっていけたらと思っています。

こうやってメンバーさんたちの会社へ伺ったり、お

話を聴かせてもらい、それぞれの得意分野を共有していくことが、地域のDXの繋がりになっていくのではないかな、と考えています。みんなが集まれる場を創って、共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに。そして自社の強みに気づくことに繋がればと思っています。今回もありがとうございました。



事務局だより

◎ 組合のうごき

3月	5日	夢メッセ・常任・拡大理事会 常設合同委員会	印刷会館
	15日	CSR推進委員会	北九州
	22日	経営革新マーケティング委員会	札幌
	27日	ワイガヤ会	福山
	28日	常任役員会	東京
4月	12日	組合会計監査	印刷会館
	19日	JPPS講習会	Web会議
	24日	夢メッセ三役会、第1回常任理事会 第1回拡大理事会、会館取締役会	印刷会館
	25日	常任役員会・理事・情報	東京
	27日	東西対抗ゴルフ大会	久井カントリー

【脱退】

商号	脱退年月	支部
江川刃物工業(有)	令和6年2月末	広島西南
(有)マツナガ	令和6年3月末	広島西北

広島県印刷工業組合通常総会開催のご案内

次のとおり、通常総会を開催しますので万障お繰り合わせのうえご出席ください。

▼広島県印刷工業組合 令和6年度通常総会

・日時 5月21日(火) 午後4時00分

・場所 広島ガーデンパレス

なお、午後6時から懇親会を予定しています

和・洋紙・板紙・紙製品

広島洋紙株式会社

取締役社長 櫻井文晶

広島市西区商工センター6丁目1番29号

TEL (082) 277-3131

FAX (082) 277-3133